

## 平成22年度 第5回教育研究評議会議事録

日時 平成22年9月15日（水）14時30分～18時10分  
場所 事務局大会議室・工学部大会議室（テレビ会議）  
出席者 伊東、石井、碓氷、柳澤、山崎、浅利、船橋、杉山、佐藤、寺村、今野、  
山本、梅澤、國宗、荒川、酒井、西原、村井、東郷、佐古、高木、鈴木、  
渡邊修、永津、渡邊尚、田中、三村、加藤の各評議員  
欠席者 青山、増田、竹内の各評議員  
陪席者 塩田監事  
中村、太田、佐藤の各学長補佐  
神藤特任教授（若手研究支援室）

### I 前回議事録の承認について

平成22年度第4回教育研究評議会議事録（案）を原案どおり承認した。

### II 審議事項

#### 1 国立大学法人静岡大学テニユア・トラック制に関する規則の制定について

#### 2 静岡大学教員の任期に関する規則の一部改正について

碓氷委員から、平成23年度から科学技術振興調整費によらない本学独自のテニユア・トラック制度を実施することに伴う標記規則の制定等について、資料1・2、参考1・2により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、部局におけるテニユア・トラック審査委員会細則等（参考1・2）は雛形であり、各部局で制定することとなるが、細部については、若手研究者支援室と協議願いたい旨発言があった。

#### 3 静岡大学大学院規則の一部改正について

石井委員から、平成22年4月から岐阜大学大学院連合農学研究科構成大学のうち、信州大学が外れたこと等に伴う静岡大学大学院規則の一部改正について、資料3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 4 静岡大学施設・環境マネジメント委員会規則の一部改正について

#### 5 静岡大学教員免許状更新講習企画委員会規則の一部改正について

総務部長から、理事（教育担当）を理事（教育・附属学校園相当）に変更したことに伴う標記規則の一部改正について、資料4及び参考3により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

## 6 静岡大学放射線障害予防規則の一部改正について

## 7 静岡大学放射線障害予防規則施行細則の一部改正について

## 8 静岡大学理学部放射線障害予防規程の一部改正について

学術情報部長から、放射線障害防止法施行規則の改正等に伴う標記規則等の一部改正について、資料5・6・7により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、学術情報部長から関係省庁等から事業所(部局)宛てに法改正の文書が発送される場合があるので、その際は、事務局の担当部署に連絡願いたい旨依頼があった。

## 9 国立大学法人静岡大学における環境負荷モニターシステムの運用に関する要項の制定について

財務施設部長から、環境負荷モニターシステムの導入に伴う標記要項の制定について、資料8及び参考4により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、議長から、学生に対する節電の啓蒙は、各部局において、適宜、指導願いたい旨発言があった。

## 10 理工系の教育研究組織整備についての今後の進め方について

碓氷委員から、理工系の教育研究組織整備についての今後の進め方について、資料9により説明があり、審議の結果、基本的な考え方を大筋で承認した。

なお、浜松キャンパス教育課程検討WGについて、入試センター教員にオブザーバーとして参画願うこととした。

また、議長から、組織整備の基本的枠組について、更なる良案があれば提案願いたいこと、さらに、石井委員から、浜松キャンパス教育課程検討WGについては、教育企画室とも連携を取りつつ、審議状況について、適時に企画戦略会議で報告したい旨発言があった。

(意見交換で出された主な意見等)

- ① 創造科学技術大学院は研究にインセンティブを付すという構想だったが、必ずしも実現できていない。今回の措置により博士課程が希薄になる懸念がある。また、所属について4研究科のいずれかではなく、新たな帰属等もあり得るので部局でさらに議論したい。
- ② 新研究所、新研究センターについては、何年間で何を研究させるのか、明らかにすべきとの指摘があり、今後、研究企画室において検討する旨回答があった。
- ③ 本学が教育・研究面でどのような大学を目指しているのか、教育重視なのか、世界レベルの研究拠点を目指すのか、明確にして発信すべきとの意見があり、今後、検討していく旨回答があった。
- ④ 全学的なリソースの中で、財源やマンパワーがどういう形で組み込ま

れるか気になる。

⑤ 文系分野に係るアジア研究も含めて重点研究分野の推進は変わらないと考えてよいかとの質問があり、変わらない旨回答があった。

⑥ 地域からの評価を得ることが重要であり、そのためには、地域のニーズを聞くことや他大学、産業界、行政とも連携して検討すべきであり、本学が地域において、リーダーシップを発揮していくべきである旨指摘があり、適切なタイミングで連携をしていく旨回答があった。

#### 11 ネブラスカ大学オマハ校（アメリカ合衆国）との学生交流に関する覚書更新について

村井委員から、ネブラスカ大学オマハ校との学生交流に関する覚書更新について、資料10により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 12 ブダペスト工科経済大学（ハンガリー共和国）との大学間交流協定更新について

村井委員から、ブダペスト工科経済大学との大学間交流協定更新について、資料11により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 13 釜山大学校（大韓民国）とのダブルディグリープログラムに関する協定及び覚書の締結について

永津委員から、釜山大学校とのダブルディグリープログラムに関する協定及び覚書の締結について、資料12により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 14 中国科学院プラズマ物理研究所とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

永津委員から、中国科学院プラズマ物理研究所とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料13により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 15 インドネシア大学（インドネシア共和国）とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について

永津委員から、インドネシア大学（インドネシア共和国）とのダブルディグリー特別プログラム覚書の締結について、資料14により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

#### 16 大学施設の有効活用について

山崎委員から、静岡キャンパスの既存施設の有効活用について、資料15により説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

なお、船橋委員から、保育スペースは旧廃液処理施設そのものを利用するのではなく、その一般管理棟の骨組みを利用して、安全面をチェックしつつ

全面リニューアルするものであり、環境面を含め何ら問題がないことを専門家も確認していることから、各部局で説明の際に言葉の一人歩きに留意願いたいとの発言があった。

また、委員から今後の中長期的な施設整備計画やその見通しについて、提示願いたいとの発言があった。

## II 報告事項

### 1 企画戦略会議報告

議長から、第5回企画戦略会議（H22.9.1）について、資料16により概要説明があった。

### 2 国立大学法人静岡大学教職員就業規則の一部改正等について

総務部長から、教職員の人事評価実施に伴う下記の関連規則の一部改正等について、資料17・18により報告があった。

- 国立大学法人静岡大学教職員就業規則の一部改正
- 国立大学法人静岡大学有期雇用教職員就業規則の一部改正
- 国立大学法人静岡大学教職員人事評価実施規程の制定
- 国立大学法人静岡大学教職員給与規程の一部改正
- 期末手当及び勤勉手当支給細則の一部改正
- 国立大学法人静岡大学教職員勤務評定実施規程の一部改正
- 国立大学法人静岡大学教員の就業に関する規程の一部改正

### 3 女性研究者の論文投稿支援制度要綱の制定について

船橋委員から、女性研究者の論文投稿支援制度要綱の制定について、資料19により説明があった。

### 4 学会参加時保育支援制度実施要綱の制定について

船橋委員から、学会参加時保育支援制度実施要綱の制定について、資料20により説明があった。

### 5 部局間国際交流協定の更新について

東郷委員から、①工学部とカリフォルニア工科大学工学及び応用科学技術部、②工学部と延世大学情報ストレージセンターとの部局間国際交流協定の更新について、資料21・22により報告があった。

### 6 教員採用等報告

議長から、資料23及び参考5により、情報学部3、名理学部1名、工学部1名及び創造科学技術大学院2名の教員採用等の報告があった。

### 7 平成23年度概算要求について

山崎委員から、平成23年度概算要求算定の考え方等について、資料24

により報告があった。

#### 8 全学一斉地震防災訓練の実施について

山崎委員から、全学一斉地震防災訓練を11月8日（月）に実施するので周知願いたい旨発言があった。

### III その他

#### 1 研究費等による図書購入について

加藤委員から、研究費等により図書を購入した場合は、大学の資産として「備品」登録するよう、資料25により協力依頼があった。

#### 2 平成22年新司法試験法科大学院合格状況について

田中委員から、平成22年新司法試験法科大学院合格状況について、資料26により説明があった。

#### 3 「若手グローバル研究リーダー育成プログラム」国際シンポジウムについて

碓氷委員から、「若手グローバル研究リーダー育成プログラム」国際シンポジウムについて、資料27により開催案内があった。

#### 4 静大の学際科目を考えるフォーラムについて

石井委員から、静大の学際科目を考えるフォーラムについて、資料27により開催案内があり、教員の参加について依頼があった。

以上